

2026(令和8)年度 事業計画

NPO行徳自然ほごくらぶ

例年同様、水鳥をはじめとする野生生物が生息できる湿地環境の保全と復元を中心に活動します。保護区をはじめとする調査研究活動の活用の一環として、研究誌の発行開始を目指します。

1 自然保護の意義と知識の普及啓蒙に関する活動

1-1. 行徳鳥獣保護区利用者等の応対 ※5-1. に関連項目

1-2. 自然観察会等の開催

1-3. 自然観察会・各種イベントなどへの参加・協力・出展、講師派遣

2 生物の良好な生息環境の確保、保全、改善および復元に関する活動

2-1. 市川市および周辺地域における各種会議等での発言・提言

2-2. 行徳鳥獣保護区の野生生物の生息環境の改善・復元のための活動

2-3. 他団体との協力・意見交換

3 野生生物についての調査および研究に関する活動

3-1. 野生生物の生息調査および研究

3-2. 「江戸前千潟研究学校」の実施

3-3. カワウに関する調査

4 傷病野生生物の保護および救護に関する活動 ※5-1. に関連項目含む

5 行徳内陸性湿地の管理および運営に関する活動

5-1. 保護区の利用対応ならびに周知広報、傷病鳥の救護、施設の維持管理など

5-2. 内陸性湿地帯を良好な状態に保ち、野鳥を誘致するための環境維持・改善・野鳥保護事業

5-3. 内陸性湿地帯管理に役立てるため水質調査・鳥類調査

6 この法人の活動についての広報に関する活動

6-1. 会報「すずがも通信」発行(年6回偶数月第2日曜日)

6-2. 50周年記念誌発行及び研究誌立ち上げ

7 このほか、この法人の目的を達成するために必要な活動

7-1. インターネット等での活動紹介、行事案内等

7-2. ボランティア募集・活用の強化